

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 老年看護学分野科
目コード:250002

高齢者健康生活論 Quality of Life in the Elderly

担当教員	北村言 松本勝 大橋史弥				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・討議
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	高齢者、生活支援、QOL、介護				
学習目的・目標	《学習目的・目標》 高齢者の生活を取り巻く医療・看護の現状と課題を理解し、老年看護の今後の可能性について考えることができる				
授業計画・内容	《授業展開の方法》 ・高齢者の生活を支援する看護実践や社会制度について、現状と課題を把握するため、各テーマについて受講者で担当を割り振り、担当テーマについて調べた内容を授業で発表し、受講者全体でディスカッションを行う。発表内容には、現在の日本の看護実践において実施されていること、活用可能なアセスメントツール、関連する医療・介護制度、それらにおける課題を含め、それをもとにディスカッションを進める。				
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション(授業の進め方、発表担当の割り振り、等) 高齢者の健康を取り巻く環境			講義	北村言 松本勝 大橋史弥
2-3	高齢者の栄養ケア			発表・討議	北村言 松本勝 大橋史弥
4-5	高齢者の排泄ケア			発表・討議	北村言 松本勝 大橋史弥
6-7	高齢者の睡眠			発表・討議	北村言 松本勝 大橋史弥
8-9	高齢者の社会活動			発表・討議	北村言 松本勝 大橋史弥
10-11	高齢者の精神的健康			発表・討議	北村言 松本勝 大橋史弥
12-13	高齢者の在宅療養(介護)			発表・討議	北村言 松本勝 大橋史弥
14-15	老年看護における課題と今後の可能性			講義・討議	北村言 松本勝 大橋史弥
教科書					
参考図書等					
評価方法・基準	プレゼンテーション(60%)、討議参加(40%)				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	高齢者の生活を支える看護の現状・課題・今後について、文献レビューと議論を通して理解を深めましょう。				